



木津川での水中生物採集。学生達も水に入ってその環境を実感する。

地理学科  
**現地を  
歩く**

## 身近な自然のなかで「生物」に触れる

河川を訪れて行う野外実習で、学生たちは奈良盆地などを流れる秋篠川・佐保川・木津川の3つの河川を訪れ、水中の生物を採集。各河川は環境や水質に違いがあり、そこに住む生物の種類も異なります。その後、研究室に持ち帰ったエビ・カニ・貝・プラナリアや、ヤゴ・アメンボ・カゲロウなどの水生無脊椎動物を顕微鏡で入念に観察して名前を調べます。最終的に河川ごとの生物の種類や密度の違いを数値化して、自然環境の良好度について発表を行いました。

近年、日本の河川・海岸の環境悪化や外来生物の導入にともない、数多くの生物が絶滅の危機に瀕しています。学生たちは実際に生物が生息している川に胴長を着て浸かり、自らの手で生物を採集することで、生物たちが置かれている環境を実感できます。子供の頃の川遊びのように現場の空気を楽しみ、生物学の研究を体験出来るこの授業「環境科学I・II」は奈良大学の人気授業です。

地理学科の学生だけではなく、すべての学部・学科の学生が受講可能。生物や自然環境について体験から考える、貴重な時間です。



日本の水棲生物に関する研究結果から、政府や行政に提言や情報提供を行い、関連法の制定や改正などに尽力してきました。環境について考えるのは、自分たちの生活を考えること。自然を満喫しながら大いに楽しみ、考えてください。

文学部 地理学科  
専門分野／動物生態学・保全生物学・生物地理学  
**岩崎 敬二** 教授、理学博士 IWASAKI Keiji

### 地理学科のフィールド・アクティビティ

- 日帰り巡検 (2年次、ゼミごとに近畿圏内でフィールドワークを体験)
- 国内長期巡検 (3年次、ゼミごとに国内各地にて3~4泊で地域調査の実践)
- 海外巡検 (2~4年次の希望者を対象に10日間前後)